

株式会社タムラ製作所

2010年3月期 決算概要

2010年 5月 17日



1. 2010年3月期決算概要
2. 中期経営計画(2010～2012年度)
3. 2011年3月期通期業績予想

1. 2010年3月期決算概要

下半期、着実に収益改善進むも
上期分をカバーするには至らず

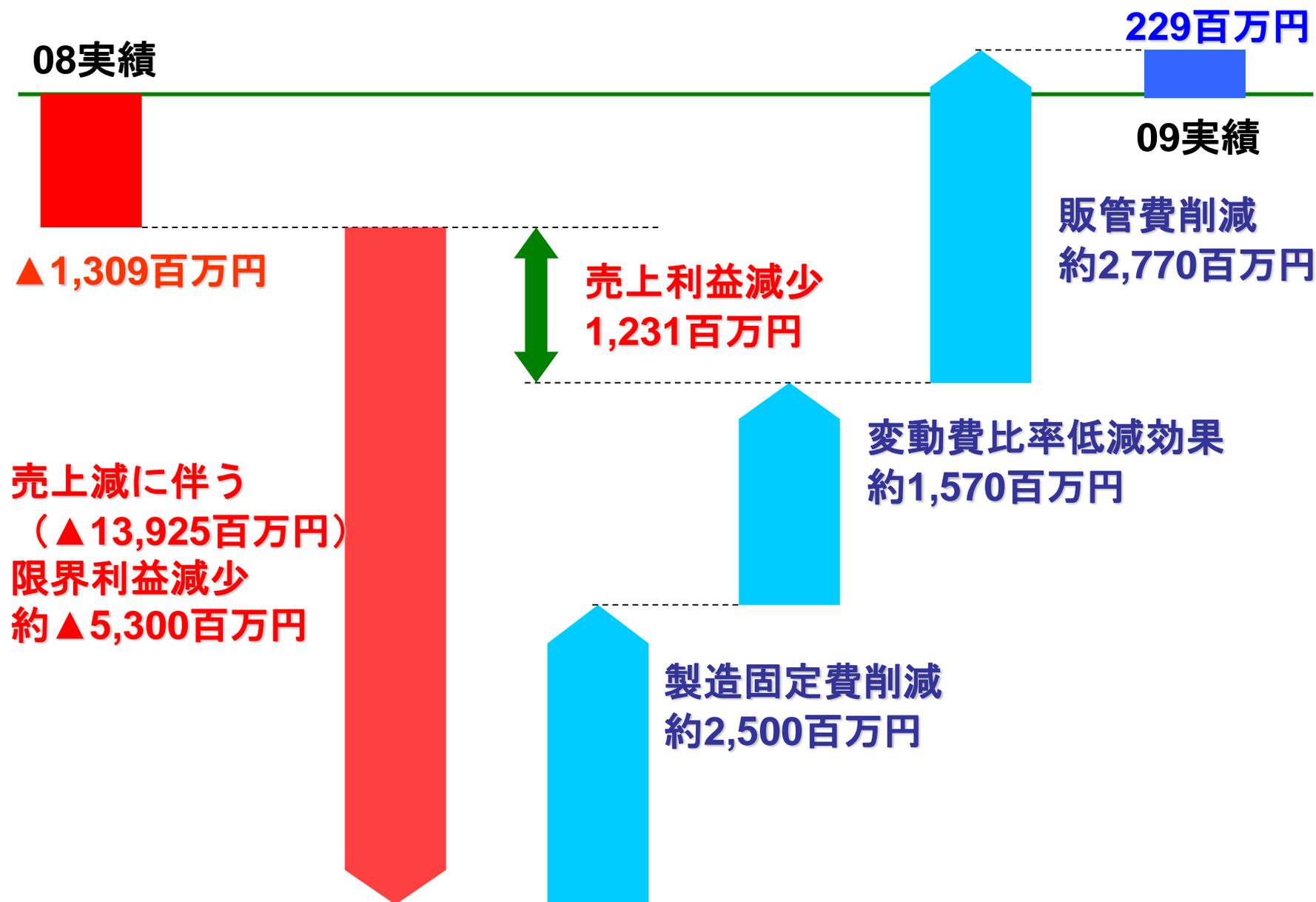
10/03 期中平均実績為替レート: \$1= 92円 87銭

10/03 期中平均社内為替レート: \$1= 93円 59銭

10/03 期末日実績為替レート: \$1= 93円 4銭

【百万円】

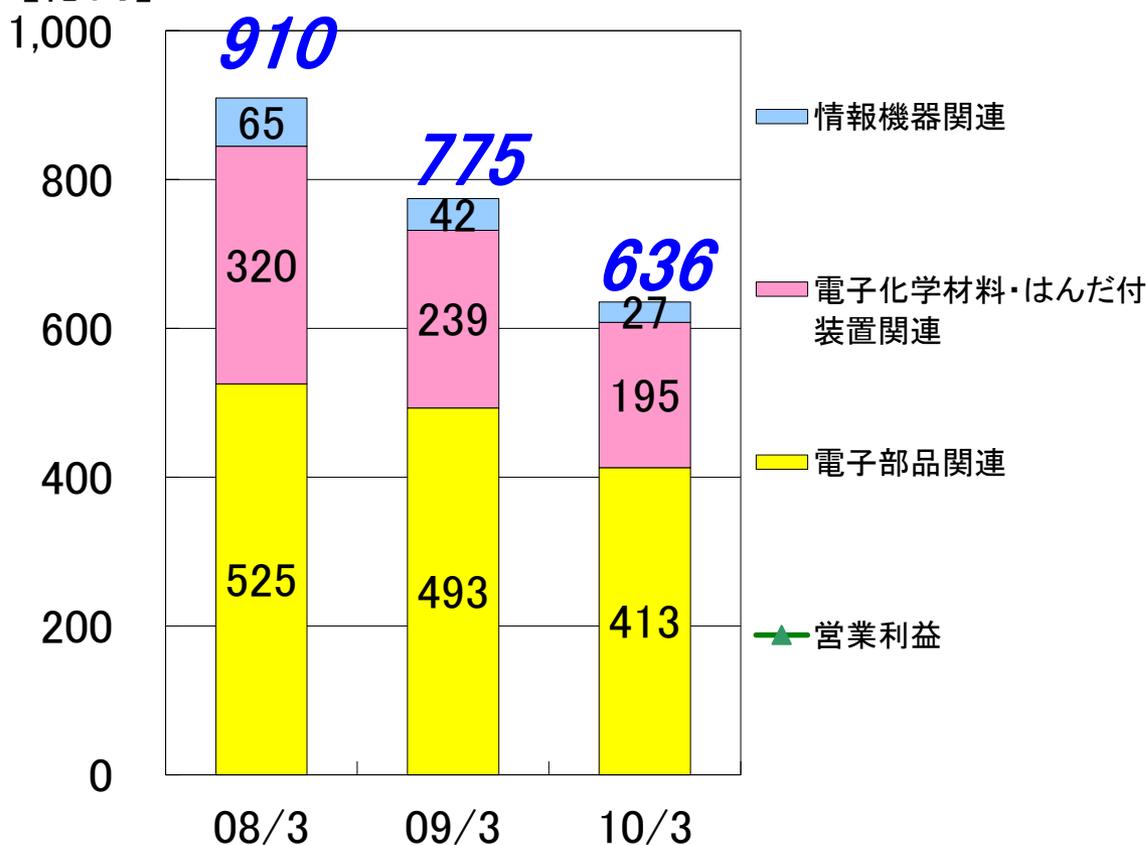
	09/3	10/3	対前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	77,507	63,581	△ 13,926	-18.0%
営業損益	△ 1,309	229	1,538	-
営業外損益	△ 1,409	△ 532	877	-
経常損益	△ 2,719	△ 303	2,416	-
特別損益	△ 3,315	△ 713	2,602	-
税引前損益	△ 6,034	△ 1,016	5,018	-
当期純損益	△ 7,506	△ 2,332	5,174	-



電子部品関連・電子化学材料関連：売上・利益とも着実に改善
 情報機器関連・はんだ付関連：未だ厳しい市況が継続

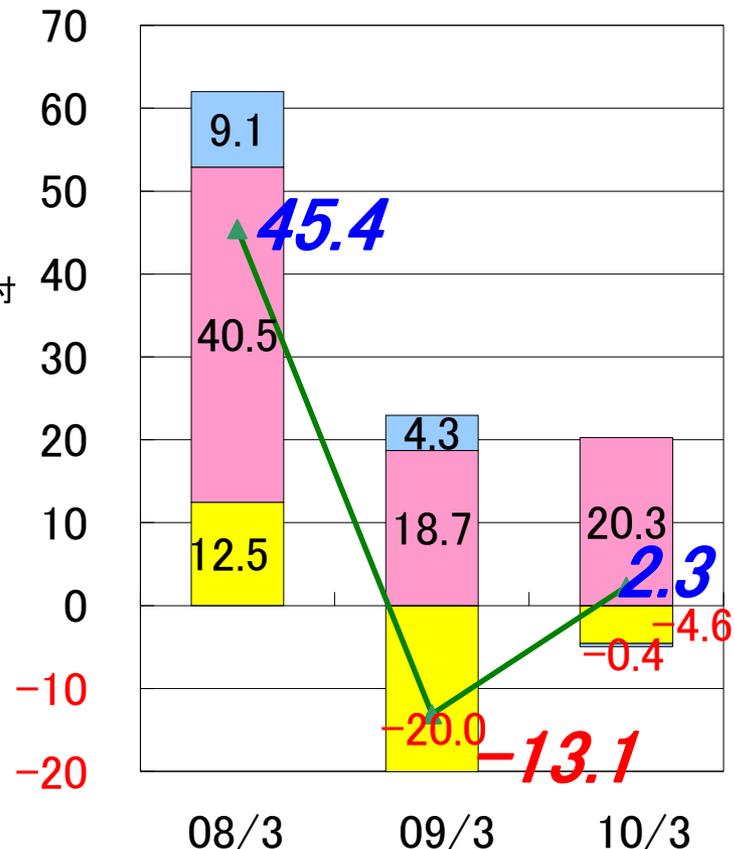
売上高

【億円】



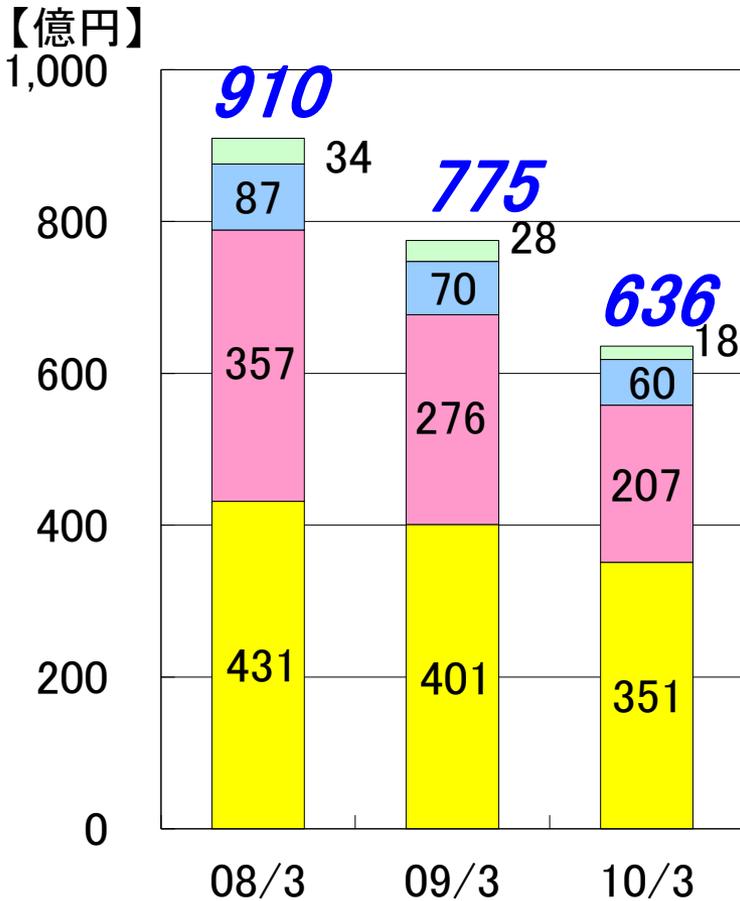
営業利益

【億円】

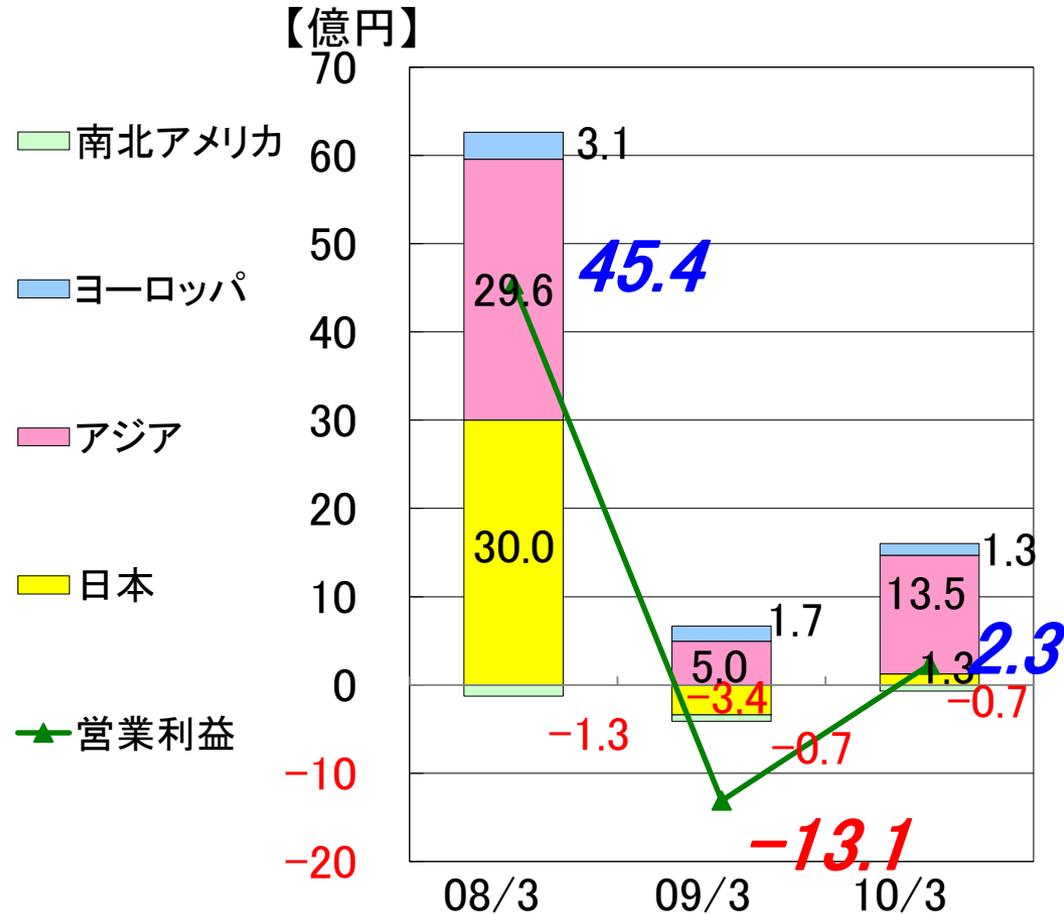


厳しい市場環境の下、売上は伸び悩むが、
収益に関しては構造改革が実を結び、アジア地域を中心に回復

売上高

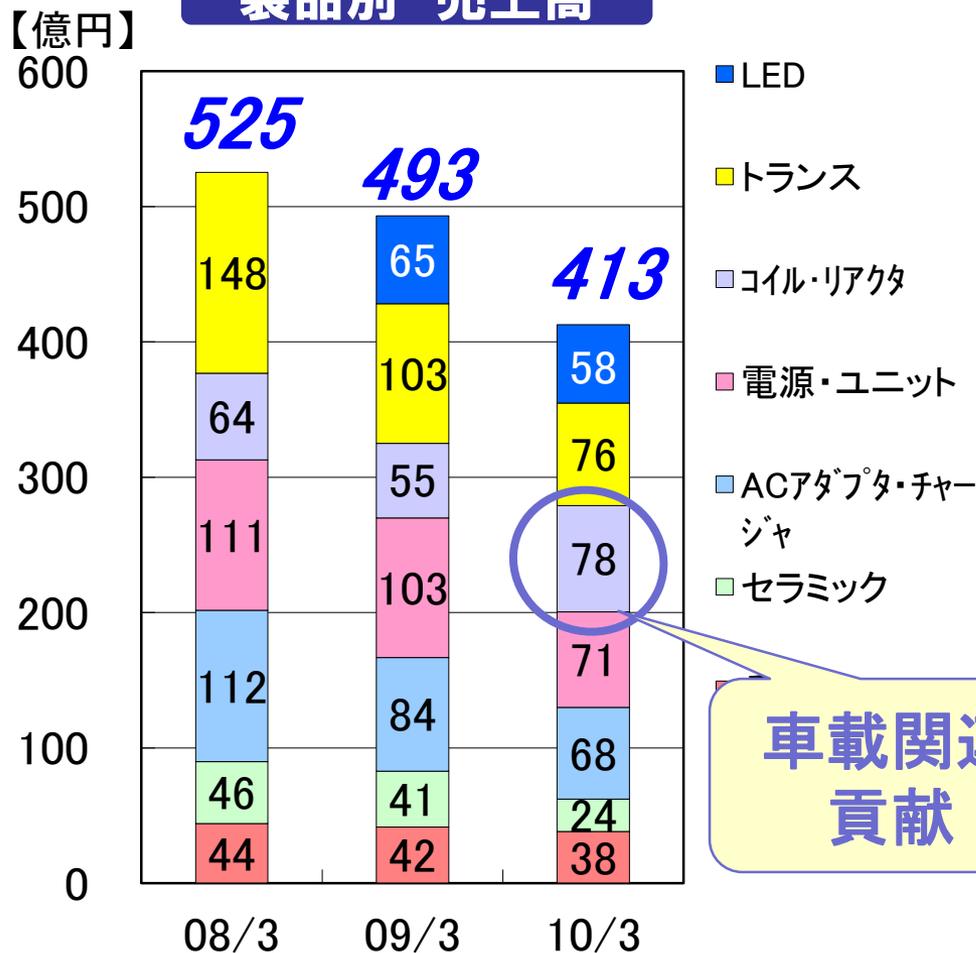


営業利益

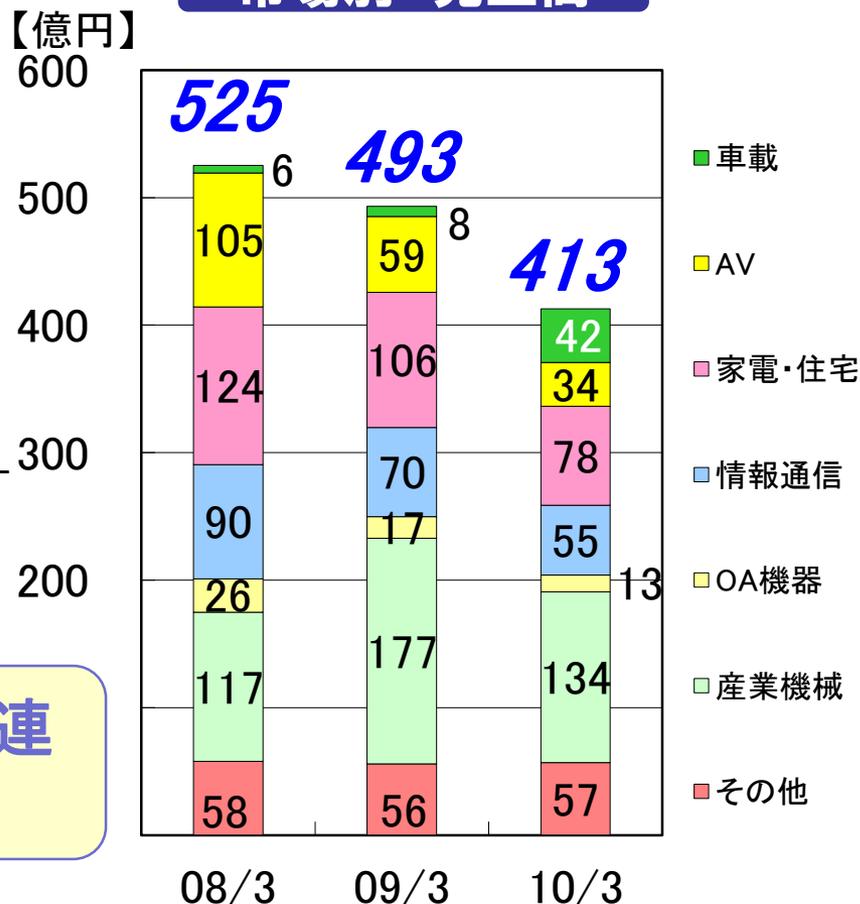


構造改革が実を結び、収益改善進む 車載事業は好調な滑り出しで、計画以上を達成

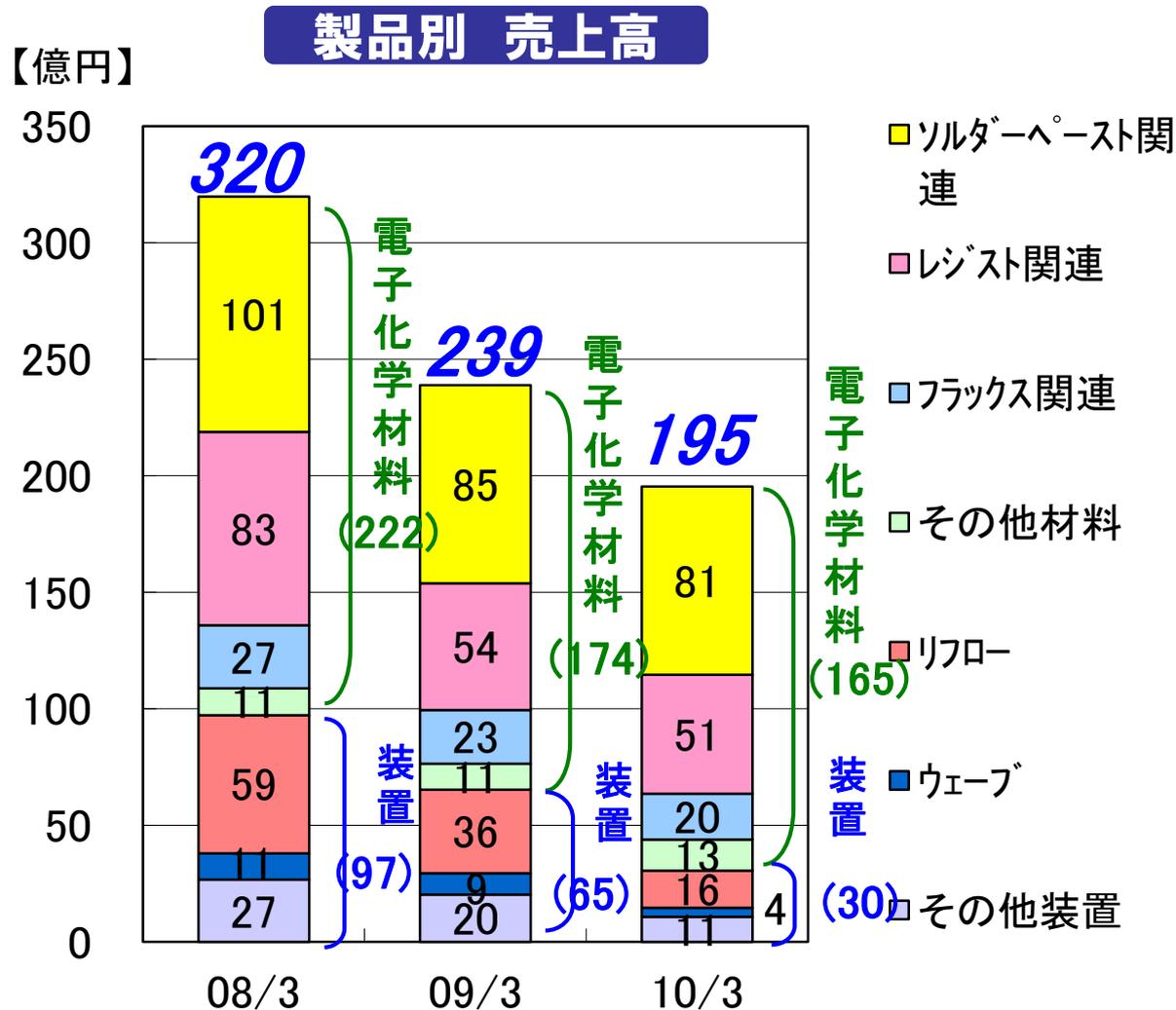
製品別 売上高



市場別 売上高

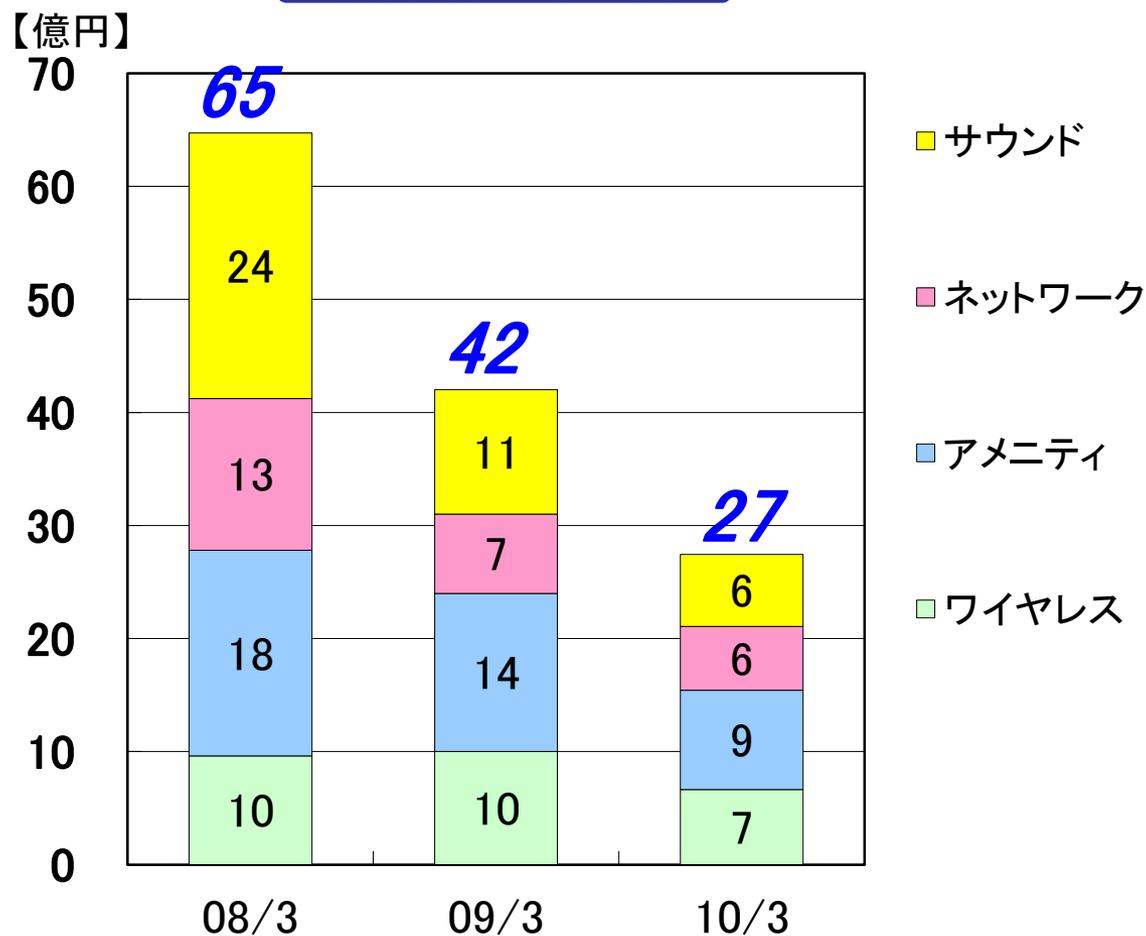


電子化学材料；生産調整の緩和、市場回復により着実に推移
はんだ付装置；設備投資抑制続き、厳しい市場環境継続



設備投資抑制の影響でサウンド関連はじめ全般的に低迷 生産移管などの構造改革で収益改善を急ぐ

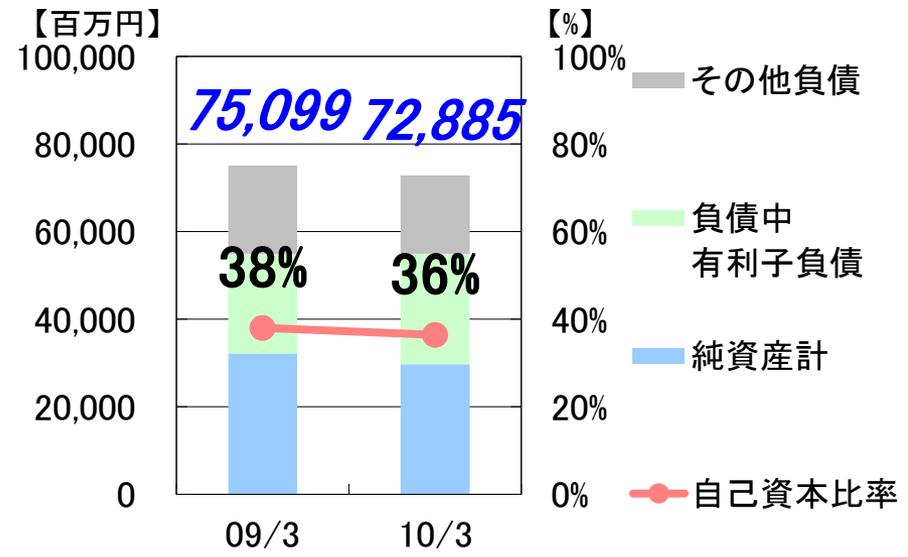
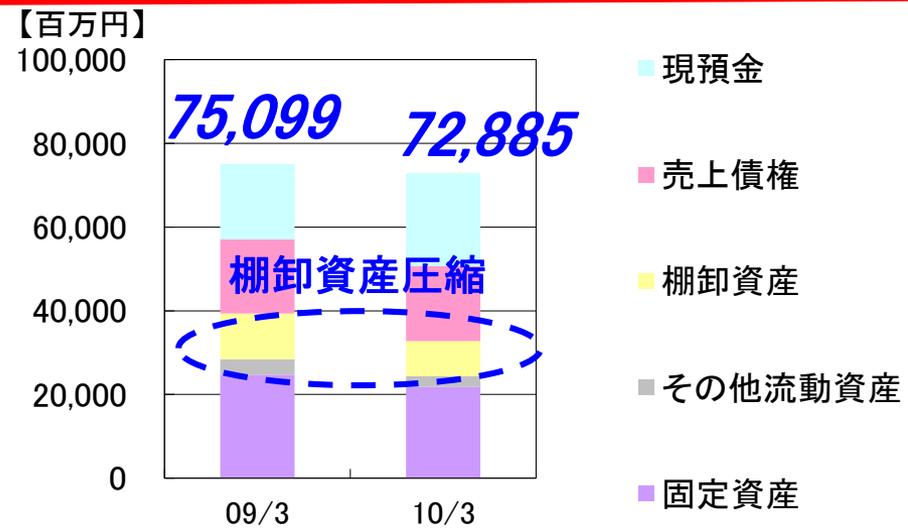
製品別 売上高



ハイライト(要約貸借対照表)

資産圧縮;在庫削減24億円、設備圧縮29億円により現預金増加42億円
⇒経営安定化

	【百万円】		
	09/3	10/3	対前年 増減
流動資産	50,349	51,055	706
（現預金）	18,036	22,230	4,194
（売上債権）	17,730	17,905	175
（棚卸資産）	10,870	8,424	△ 2,446
（その他流動資産）	3,713	2,496	△ 1,217
固定資産	24,750	21,829	△ 2,921
（有形固定資産）	18,740	17,118	△ 1,622
（無形固定資産）	1,424	1,086	△ 338
（投資、その他）	4,585	3,623	△ 962
資産合計	75,099	72,885	△ 2,214
流動負債	21,097	22,433	1,336
（仕入債務）	11,622	10,687	△ 935
固定負債	21,837	20,702	△ 1,135
（有利子負債）	22,781	25,230	2,449
負債計	42,934	43,135	201
純資産合計	32,164	29,749	△ 2,415
負債・純資産合計	75,099	72,885	△ 2,214



営業CFは昨年並黒字(+25億円)+投資CFは設備投資抑制&前期光波買収の影響
 ⇒フリーCFは大幅改善
 財務CFでは今後の資金を前倒し確保

【百万円】

	09/3	10/3	増減
営業活動による キャッシュフロー	2,475	2,483	8
投資活動による キャッシュフロー	△ 4,968	△ 349	4,619
フリーキャッシュフロー	△ 2,493	2,134	4,627
財務活動による キャッシュフロー	3,468	1,842	△ 1,626
キャッシュの増減	30	4,109	4,079
キャッシュの残高	17,907	22,017	4,110

2. 中期経営計画(2010～2012年度)

グループ
総合力

2010-2012 中期経営計画

T's POWER+
PLUS

オンリー
ワン
戦略

開発
戦略

地域
戦略

人材
戦略

No.1
戦略

2015年 世の中の変化

地球環境 の変化

- ・原油高
- ・バイオ燃料
- ・食料不足

資源不足

- ・CO2増加・温暖化
- ・環境汚染
- ・ゴミ問題
- ・熱帯雨林減少

代替エネルギー

省エネ・高効率

- ・太陽光
- ・風力
- ・バッテリー関連

- ・より便利・より安全
- ・誰でも使いやすい
- ・環境にやさしい

安全・安心・快適のニーズ

- ・オール電化
- ・自動車の電子化
- ・医療・福祉介護機器

- ・健康・医療ニーズの高まり
- ・ワークライフバランス
- ・ライフスタイルの多様化
- ・外国人就労者増加

クリーン(非汚染)

新たな

エレクトロニクス市場

の拡大

少子高齢化

- ・企業の社会的責任
- ・グローバル業界再編

電力需要の高まり

社会 の変化

- ・微細化
- ・複合化
- ・デジタル化
- ・新興国の勢力拡大
- ・グローバル人口爆発
- ・半導体関連市場の拡大
- ・ボーダーレス化

メガグローバル市場の誕生

人・価値観 の変化

高度化する技術

- ・顧客はBRICs 敵もBRICs
- ・拡大する世界規模での需要
- ・巨大化するEMSメーカー

2015年 世の中の変化

原油高 食料不足 タムラの狙い

資源不足

- ・CO2増加・温暖化
- ・環境汚染
- ・ゴミ問題
- ・熱帯雨林減少

代替エネルギー

省エネ・高効率

- ・太陽光
- ・風力

省エネ照明 (LED)

クリーン(非汚染)

電力需要の高まり

社会
の変化

- パワーソリューション - 各種エネルギー 変換機器

- ・便利
・より安全
・誰でも使いやすい
・環境にやさしい

安全・安心・快適のニーズ

- ・健康・医療ニーズの高まり
- ・ワークライフバランス
- ・ライフスタイルの多様化
- ・外国人就労者増加

- 新たなニーズに応える - 情報・通信機器

- ・企業の社会的責任
- ・グローバル業界再編

- ファインでクリーン -

世界標準の 電子材料・装置

- ・微細化
- ・複合化
- ・デジタル化

高度化する技術

- ・顧客はBRICs 敵もBRICs
- ・拡大する世界規模での需要
- ・巨大化するEMSメーカー

人・価値観
の変化

2015
VISION

2015年 タムラグループビジョン

- ⚡ タムラのエネルギー変換技術によるソリューションで、高まる省エネ・省資源ニーズに応えます
- ⚡ 高輝度LED技術を実現し、オンリーワンのLED照明で明るい省エネ社会の実現に貢献します
- ⚡ ファイン・クリーンで取り扱い自在な、世界のスタンダードとなる未来の導電性接合技術を誕生させます

2015年タムラは
**オンリーワン
価値創造企業**

2015年タムラは
**地球と共生する
良き環境企業**

- ⚡ 拠点・商流などグループ経営体制を抜本的に再構築し、多彩な事業領域のあるタムラだからできるグループダイナミクスを実現します
- ⚡ グローバルR&Dセンターを設立し、世界の技術者ネットワークでスピーディーな開発を行います
- ⚡ 国際社会・地域社会の一員として、優秀な製品と責任ある事業活動で、企業の社会的役割を果たします

- ⚡ 全員株主・全員経営者制度を導入し、全社員が主体的に会社を動かす会社になります
- ⚡ 社員の幸せを一番に考えるグローバル人事制度を確立します
- ⚡ 「オンリーワン・カンパニー」をめざす熱い「思い」をグループ全体で共有し、新しいタムラを目指して「努力」する、活力ある企業グループになります

2015年タムラは
**全員が主役の
グローバル企業**

2015年ビジョンを見据えた
2010-2012年を対象期間とする中期経営計画

長期ビジョンを見据えて

- ✓ 社会の期待に応える企業になる
- ✓ ターゲットを狙って獲る企業になる





■ No.1 & オンリーワン価値の創造



グローバルに展開し、
業界シェアNo.1を
目指す事業



当社の独自性と強みを
発揮し、ターゲット分野で
No.1を目指す事業

■ 日本発から世界発の顧客開拓 & 設計生産体制へ



非日系顧客への売上比率拡大



■ 全員が主役のグローバル企業を目指す



- ✓ 現地リーダー人材の強化・育成
- ✓ 全員経営者意識の醸成

中長期事業ポートフォリオ

● 2015(長期目標)
● 2012(中期目標)
● 2009(基準年度)

T's POWER+

チャレンジ項目

- ・酸化ガリウム基板応用製品
- ・実装新工法に対応する接合材料・基板材料
- ・LED周辺材料・応用製品
- ・ローカルコミュニケーション機器(可視光通信・PLC)
- ・海外新市場への展開

市場の成長性

当社の独自性と強みを発揮し、ターゲット分野でNo.1を目指す事業

オンリーワン戦略

LED照明

家電
(電子部品)

産業機器
(電子部品)

基板材料

車載用電子部品

超大型トランス

導電性接合材料

グローバルに展開し業界シェアNo.1を目指す事業

No.1 戦略

安定収益確保

情報
(電子部品)

AV
(電子部品)

はんだ付装置

情報機器

自販機

マーケットシェア

中期計数計画

T's POWER+

2009

基準年度

2012

中期計画

2015

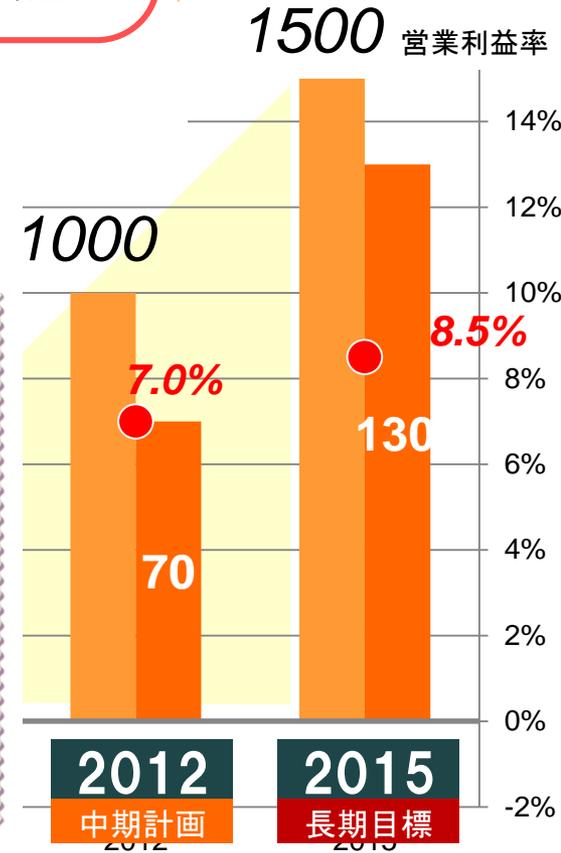
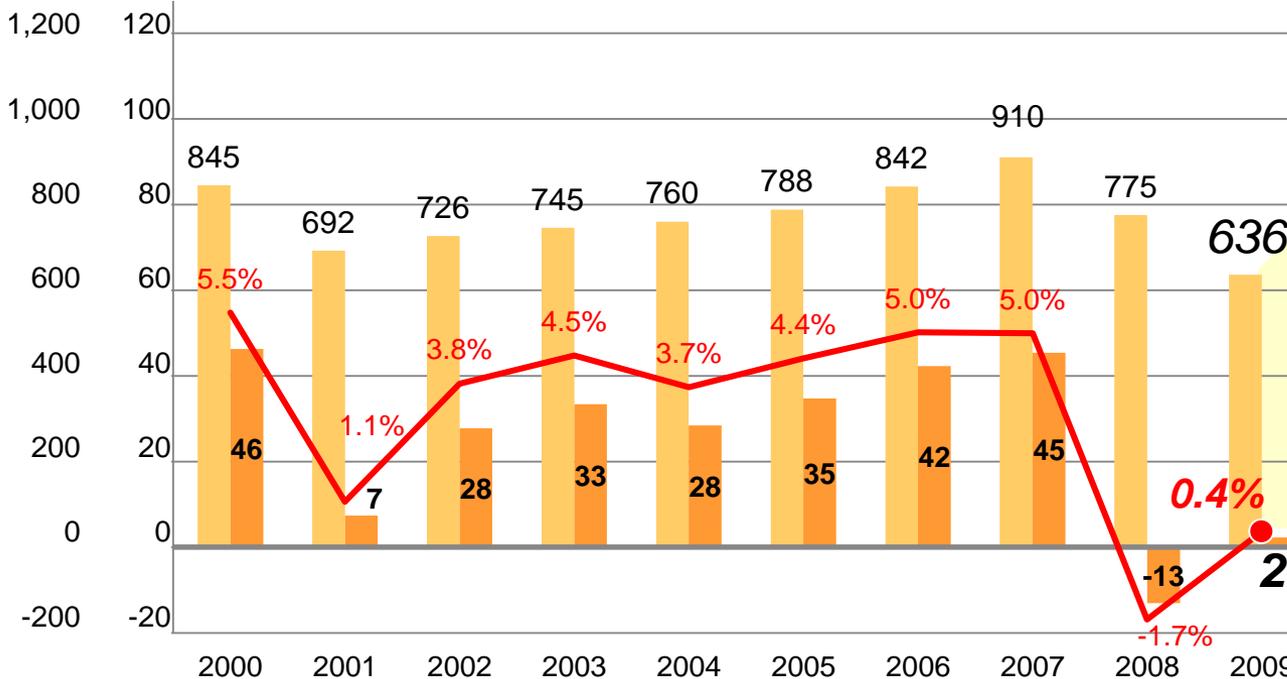
長期目標

売上高	636億円	1000億円	1500億円以上
営業利益	2.3億円	70億円	130億円以上
営業利益率	0.4%	7.0%	8.5%以上

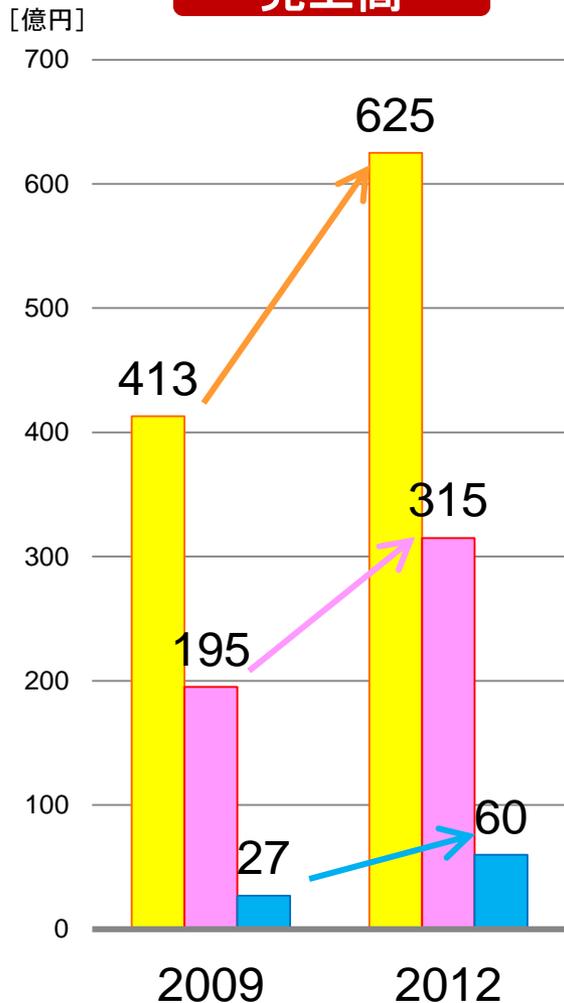
2012年度
ROA 5% 以上
ROE 10% 以上

[億円]

売上高 営業利益

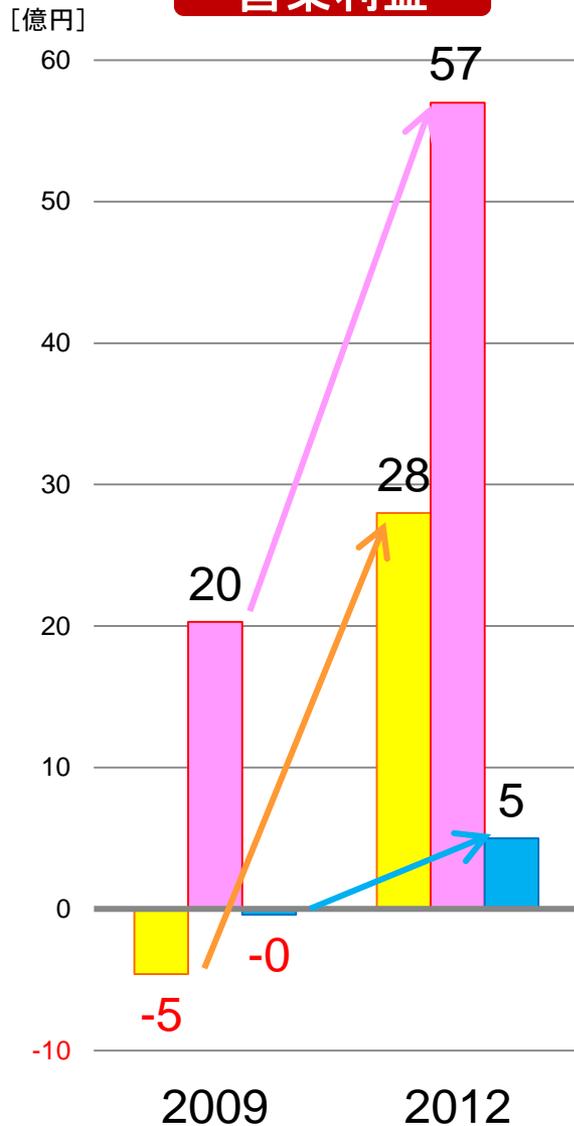


売上高

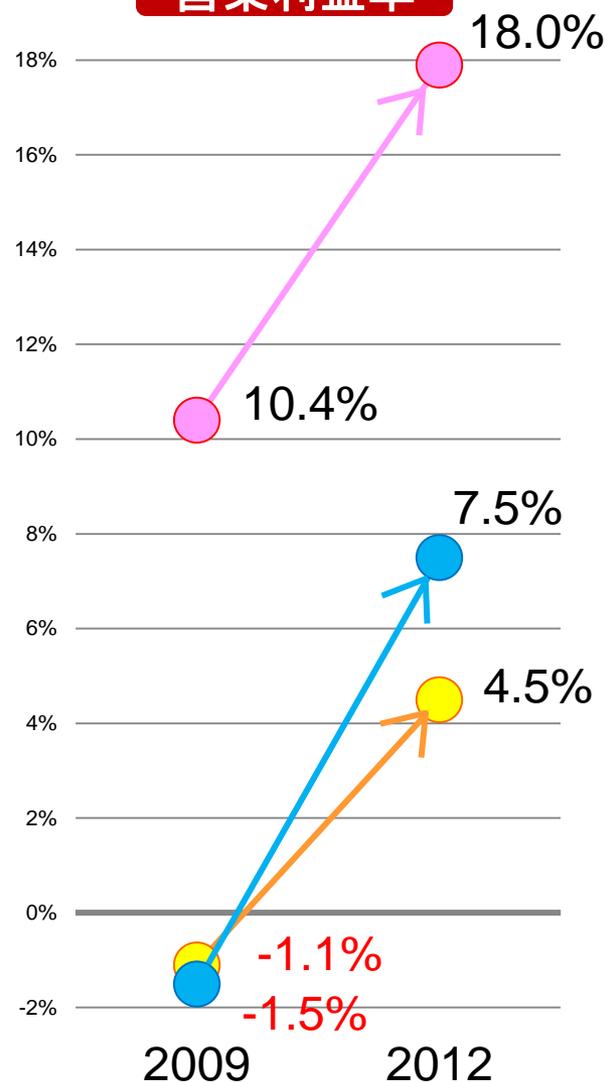


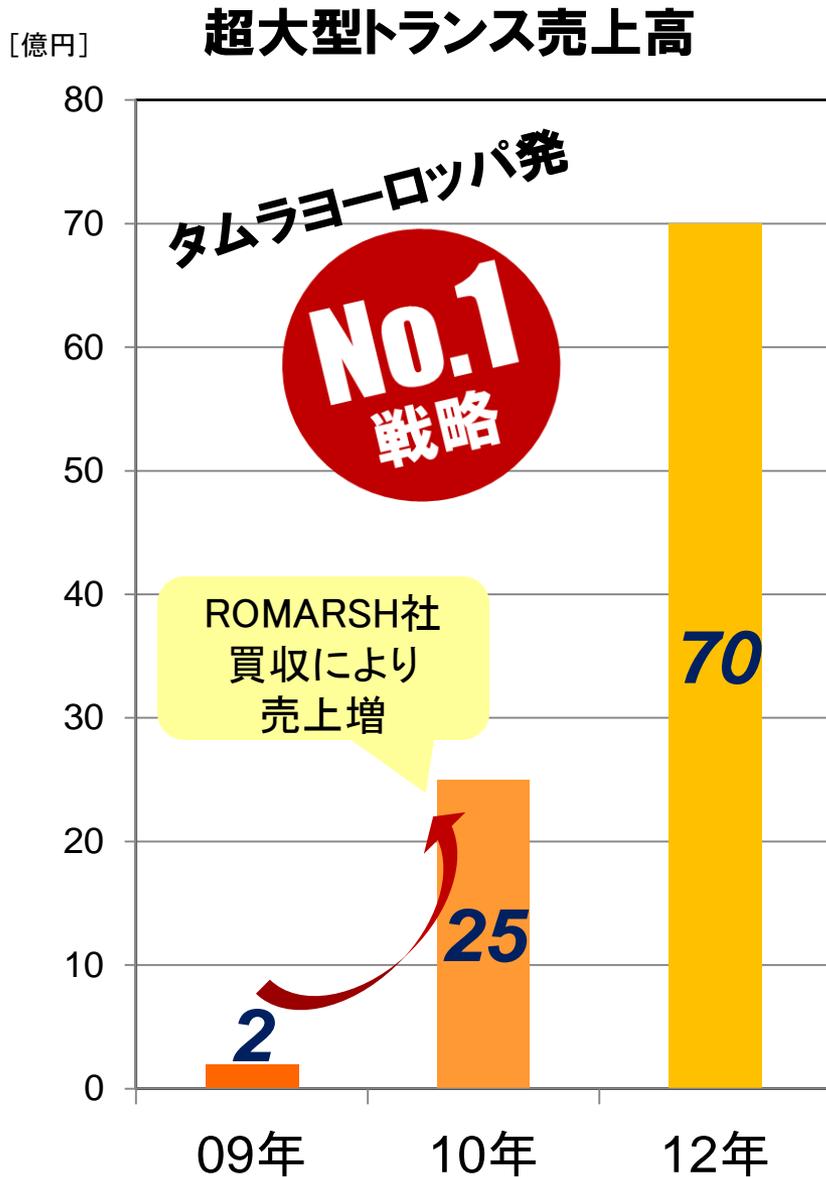
- : 電子部品事業
- : 電子化学実装関連事業
- : 情報機器事業

営業利益



営業利益率





グローバルに拡大する
エネルギー関連市場に投入



風力

再生可能
エネルギー

創エネ



太陽光



UPS
(無停電電源装置)

産業機器・インフラ向け
エネルギー変換機器

省エネ

2010年4月29日

タムラ製作所英国子会社 タムラヨーロッパが
超大型トランス及びリアクタの製造販売を行う
ROMARSH社(英国)の全株式を取得

商号: ROMARSH LIMITED

設立: 1971年

資本金: 64,000ポンド

本社: 英国 Wiltshire州 Calne

海外拠点: インド(現地資本との合弁企業) Bangalore州 Tumkur

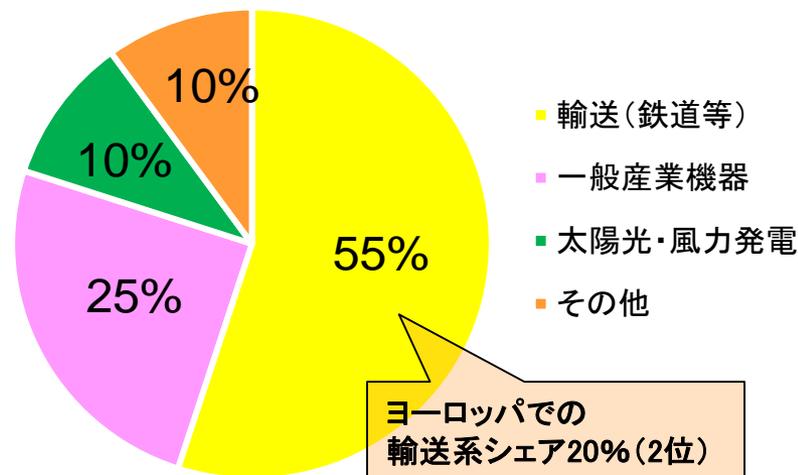
売上高(2009): 英国 約14億円
インド 約3億円

従業員数: 英国 110名
インド 100名

主力市場: 鉄道、風力発電、太陽光発電、UPS、防衛

主力製品: 大型トランス・リアクトル 特殊トランス

ROMARSH社 売上構成



※当社調べ

エネルギー市場拡大・グローバル展開の足掛かりをつくる

製品



民生トランス



産機トランス



大型トランス・特殊トランス技術領域の拡大

市場

AV



家電・住宅



情報機器



産業機械



風力・太陽光



インフラ



鉄道・輸送



エネルギー・産業機械市場比率の拡大

地域

- : 主要事業所
- : 主要工場



新興国を含むグローバル生産・販売体制の拡充



ROMARSH社

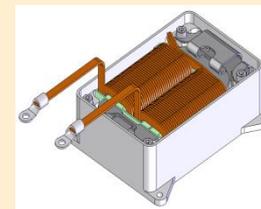
超大型トランス





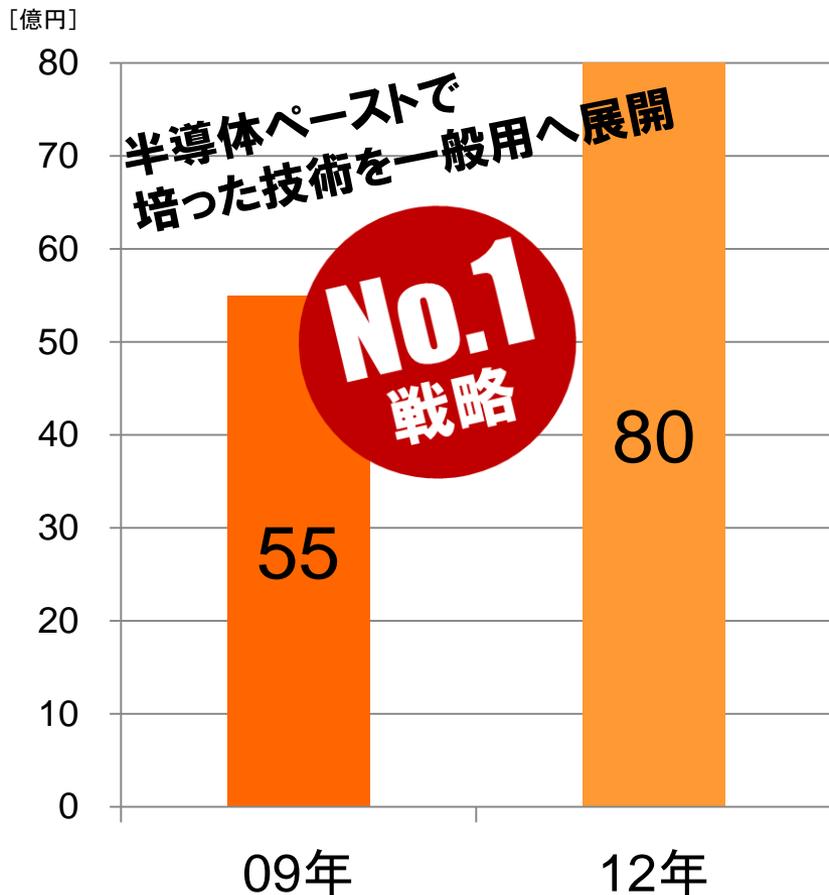
新規顧客獲得を目指し さらなる市場拡大へ

- 今後グローバルに拡大が見込まれるハイブリッド車・電気自動車市場
- 国内大手顧客に参入した実績をもとに、国内外問わず更なる展開を目指す



車載用リアクトル
ハイブリッド車・
電気自動車などの
電力変換器部に
用いられる基幹部品

一般用ソルダペースト売上高



半導体用ソルダペースト売上高

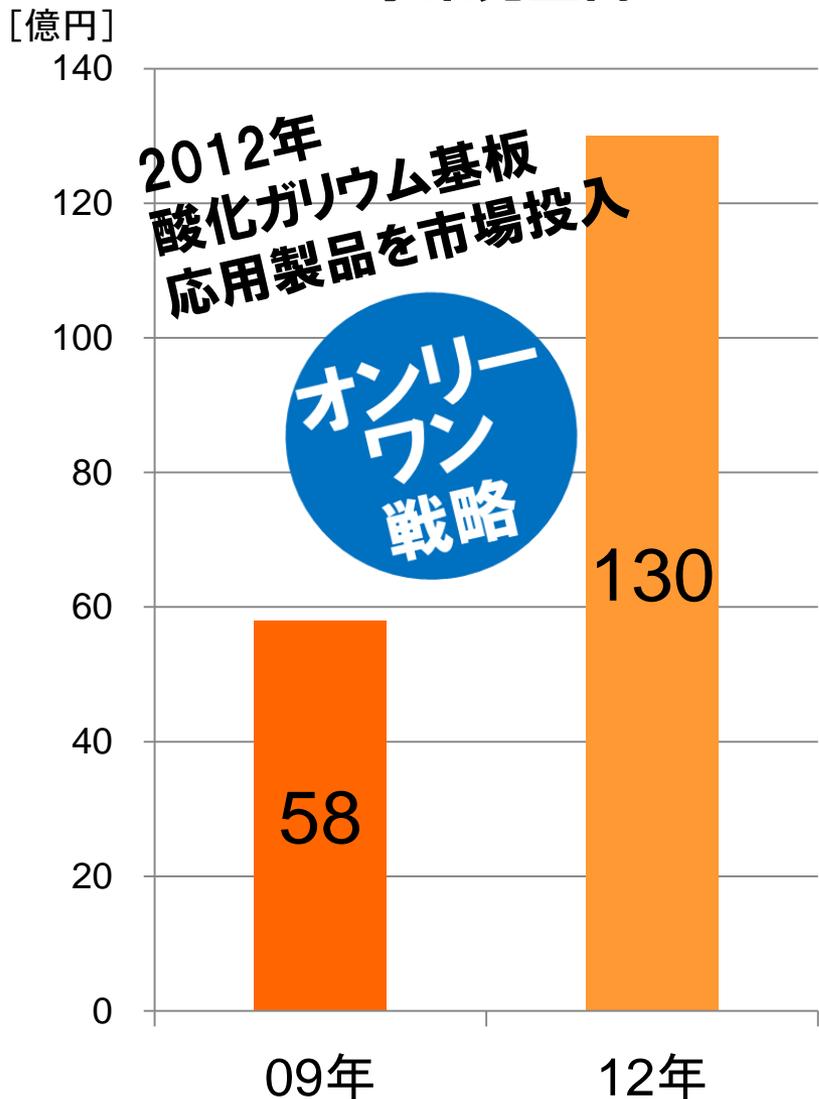


マーケット
シェア目標

※当社調べ



LED事業売上高



オンリーワンLED応用製品 ラインナップ拡充



目標

2012年

白熱電球
生産中止
(日本)

当社だけの
オンリーワン技術

大電流タイプ
高輝度LED実現！



世界で照明の
LED化が加速

酸化ガリウム基板 応用ビジネス展開スタート

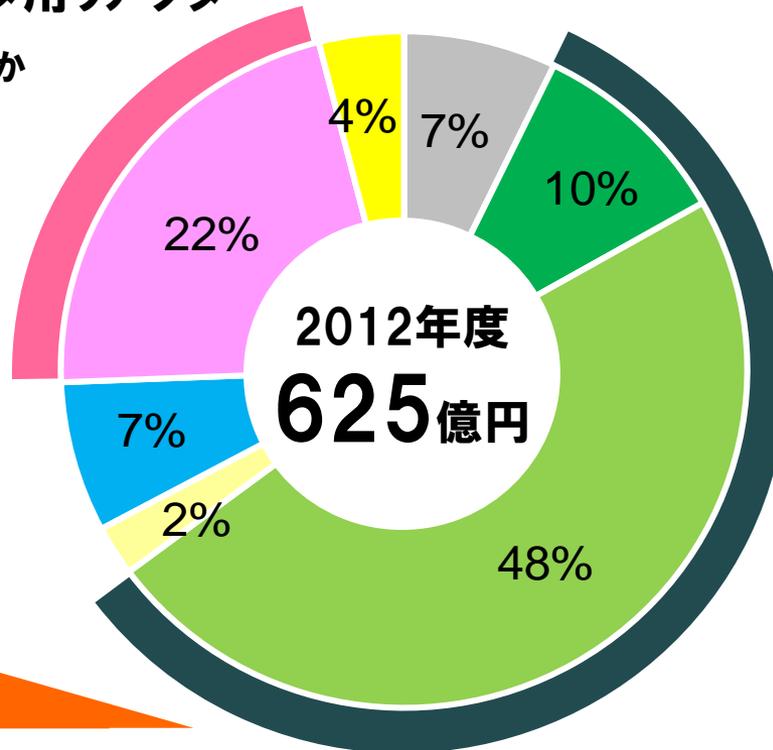
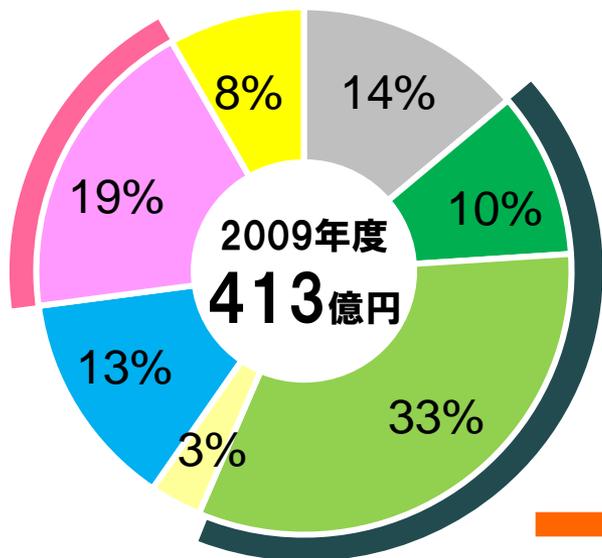
オンリーワン
戦略

【電子部品事業】産業機械市場・家電住宅市場の拡大

- 2012年、産機・車載市場向け売上で**50%以上**へ
- **源流**(コア材)からの開発でオンリーワン技術を確立

コア材
開発

- エアコン用リアクタ
- 産業機器インバータ用リアクタ
- 車載用リアクタ ほか



- その他
- 車載
- 産業機械
- OA機器
- 情報通信
- 家電・住宅
- AV

電子部品事業 市場別売上構成

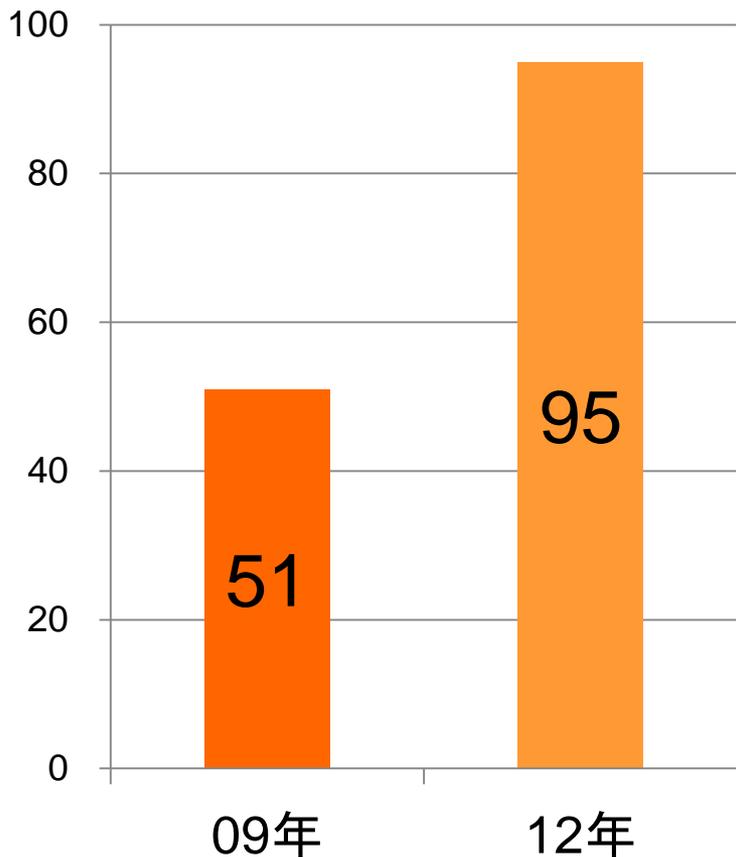
オンリーワン
戦略

ソルダーレジストで培ったフィルム・コーティング技術を 今後の成長市場で求められる新製品に展開

新聞・メディアで大反響

ソルダーレジストおよび レジスト応用製品売上高

[億円]



LED用白色反射材・太陽光反射材料

光を反射

太陽電池の
発電効率
アップ



＜太陽電池向け白色反射材＞RPW-2000TRS01

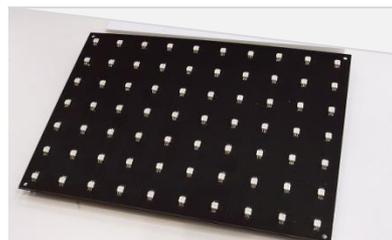
黑色吸収材

光を吸収

光を遮断

LED
ディスプレイ
が鮮明に

デザイン性
の高い
携帯端末
等に



LED実装基板用黑色吸収材

フレキシブル基板用材料

折れる

曲がる

＜フレキシブル基板向けレジスト＞

(左)RPW-白色反射材

(右)APB-黑色吸収材



未来のくらしの中のタムラ

T's POWER+



大型トランス発信基地
タムラヨーロッパ(チェコ)

世界発
T's POWER



現地設計はんた付装置発信基地
田村自動化系統
蘇州(中国)

INDUSTRY

産業用ロボット UPS

高信頼・高機能

トランス
コイル・リアクトル

大型トランス
電流センサ
実装関連装置

INFRA STRUCTURE



HOME

省エネ家電
エアコン・AV

ACアダプタ
急速充電チャージャー
マルチメディア
情報端末

ハイブリッド車 電気自動車

ファイン&クリーン

太陽光発電 風力発電

超大型トランス

創エネ

ソーラーコントローラー
自立型照明

省エネ

世界発 **T's POWER**

OFFICE

次世代半導体用接合材料
高機能フィルム・コーティング材

スマートグリッド

電力線通信

テクノミックス

ローカル
コミュニケーション機器
可視光通信
デジタルサイネージ

オンリーワン技術

LED照明

高輝度LED基板技術
LED関連部材



LED照明発信基地
オブシード(バングラデシュ)

3. 2011年3月期通期業績予想

戦略事業・新規市場への資源集中と効率化を図り、黒字化を目指す

損益見通し

11/03 計画為替レート: \$1 = 90円

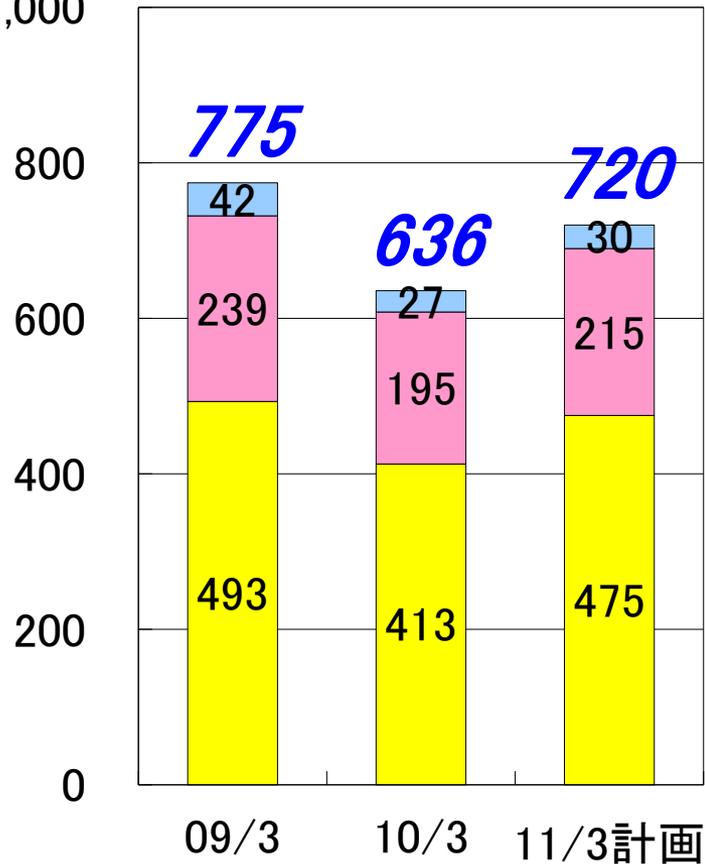
【百万円】

	10/3	11/3 計画	対前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	63,581	72,000	8,419	13.2%
営業利益	229	2,100	1,871	817.0%
経常損益	△ 303	1,600	1,903	-
当期純損益	△ 2,332	700	3,032	-

回復の兆しはあるものの、市場環境は引き続き不安定 戦略事業を中心に売上拡大・収益安定化に注力

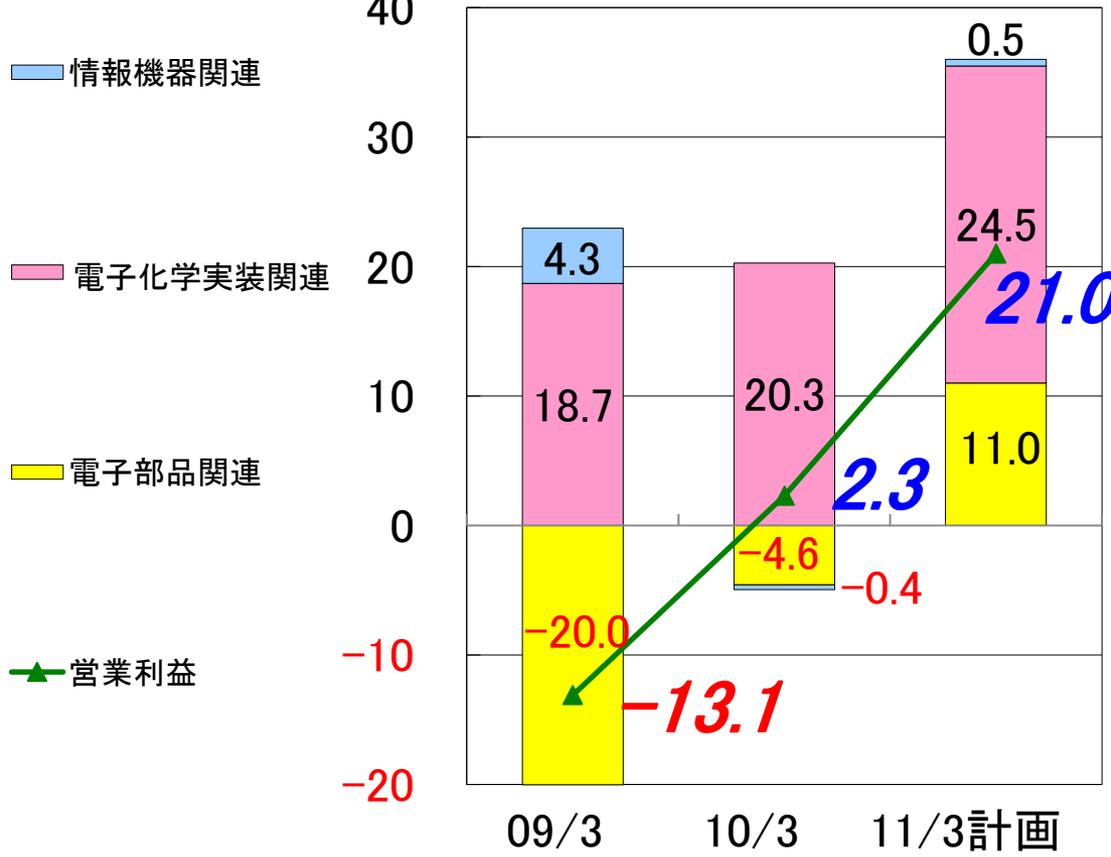
売上高

【億円】
1,000



営業利益

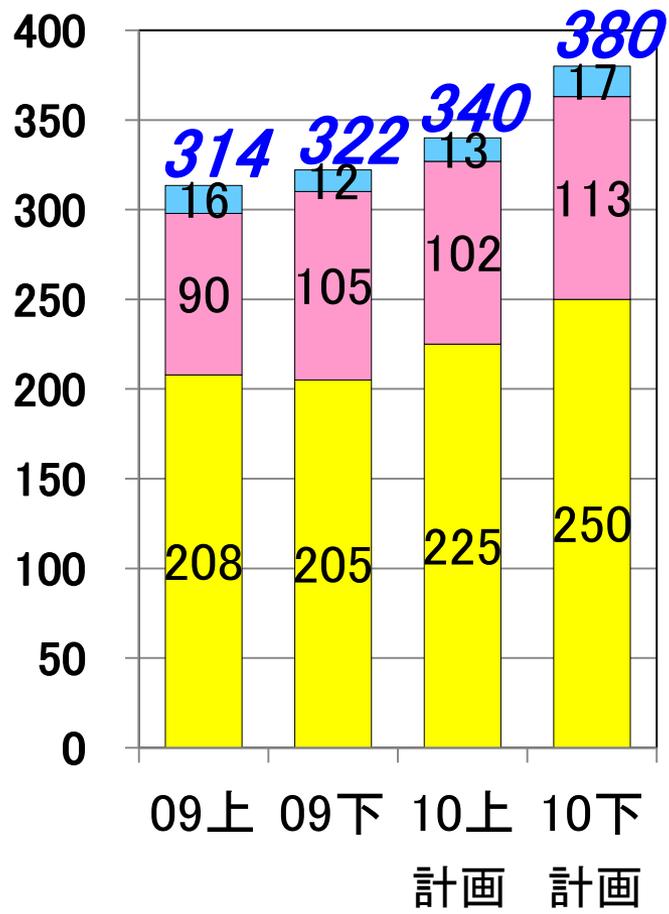
【億円】
40



全セグメント完全黒字化目指す

売上高

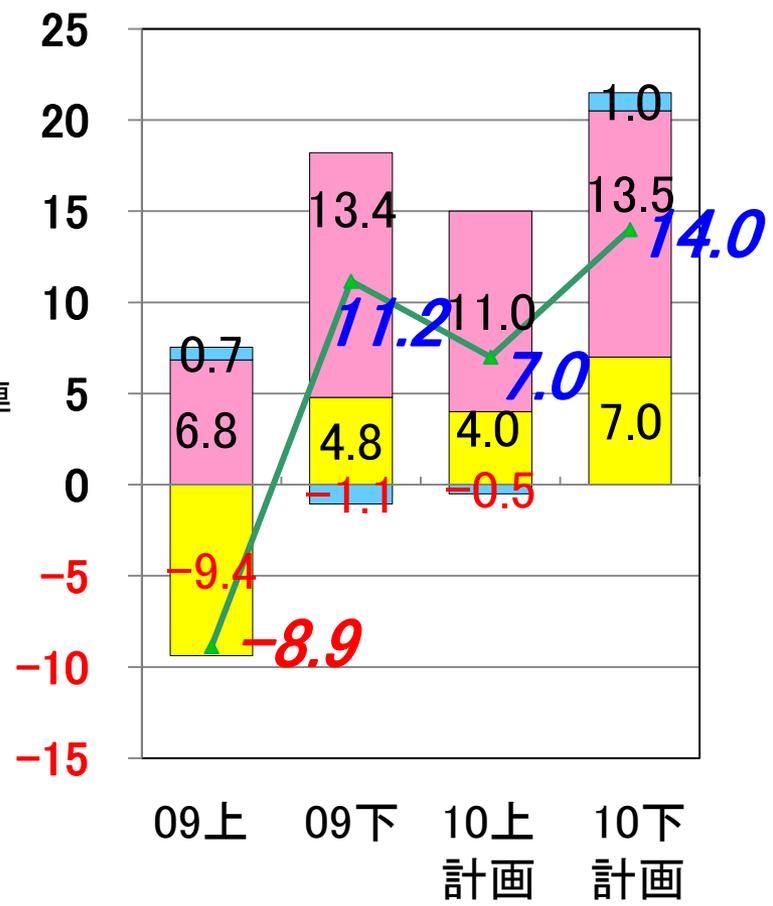
【億円】



営業利益

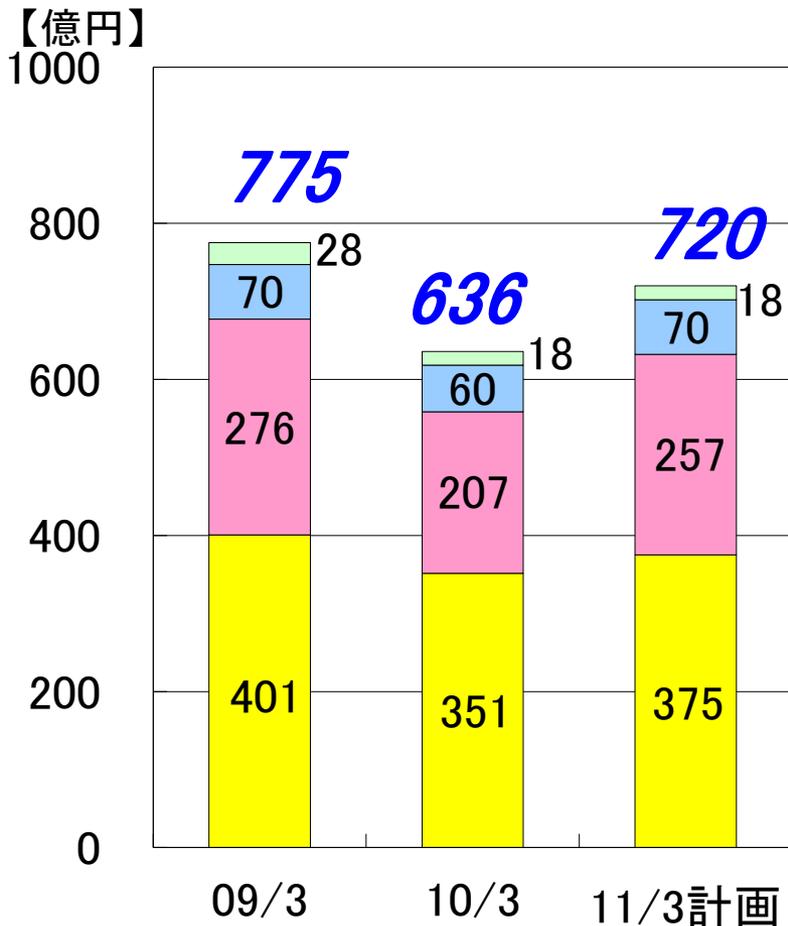
【億円】

- 情報機器関連
- 電子化学実装関連
- 電子部品関連

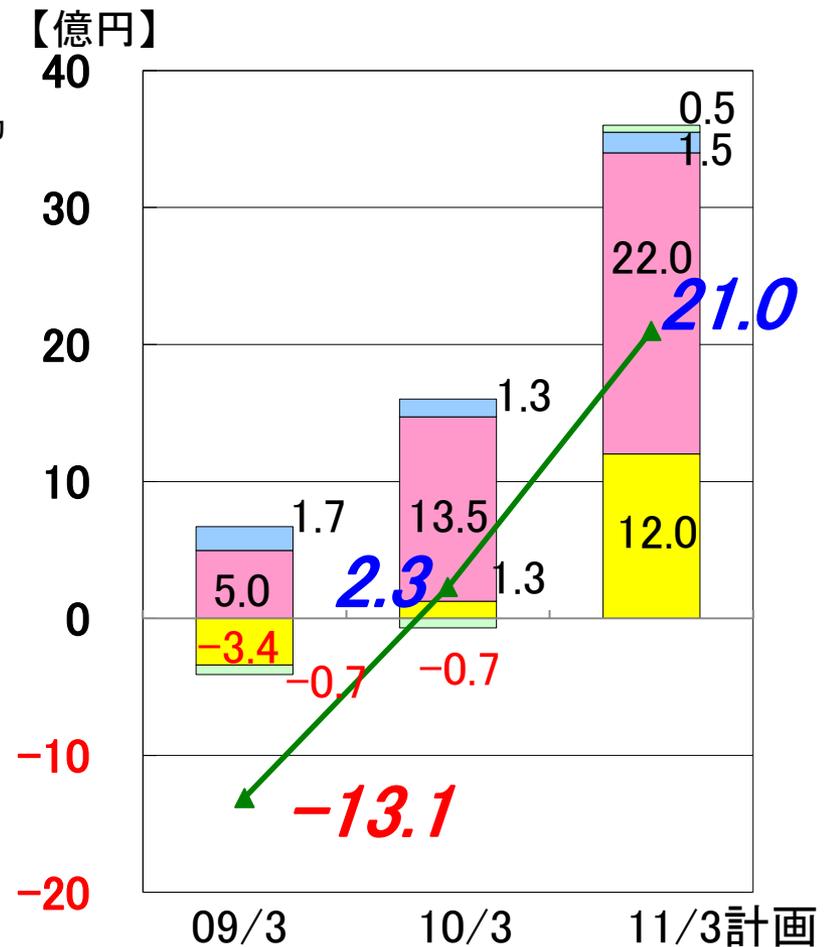


日本・アジアにおける大幅な生産体制の見直しを実践し、
全地域黒字化を目指す

売上高



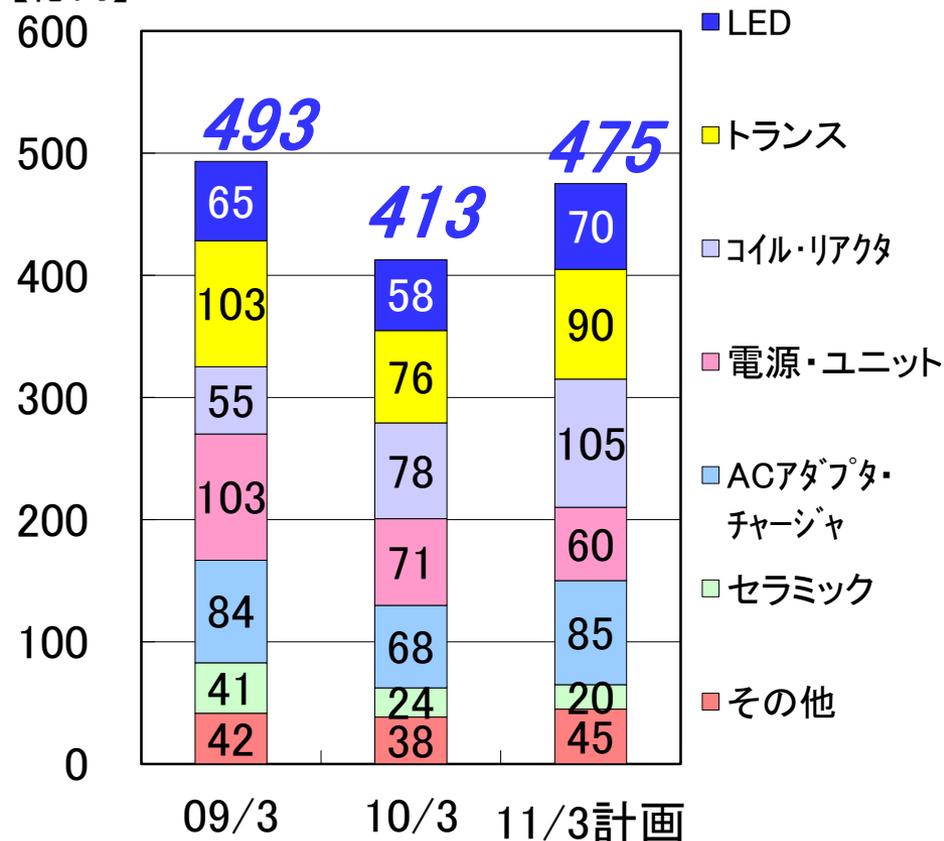
営業利益



国内外の生産体制の再構築による、業務のスリム化と収益安定化
 ROMARSH社のグループ会社化で超大型トランス事業本格参入へ
 環境対応市場向け製品の拡大(車載向け製品・LED応用製品など)

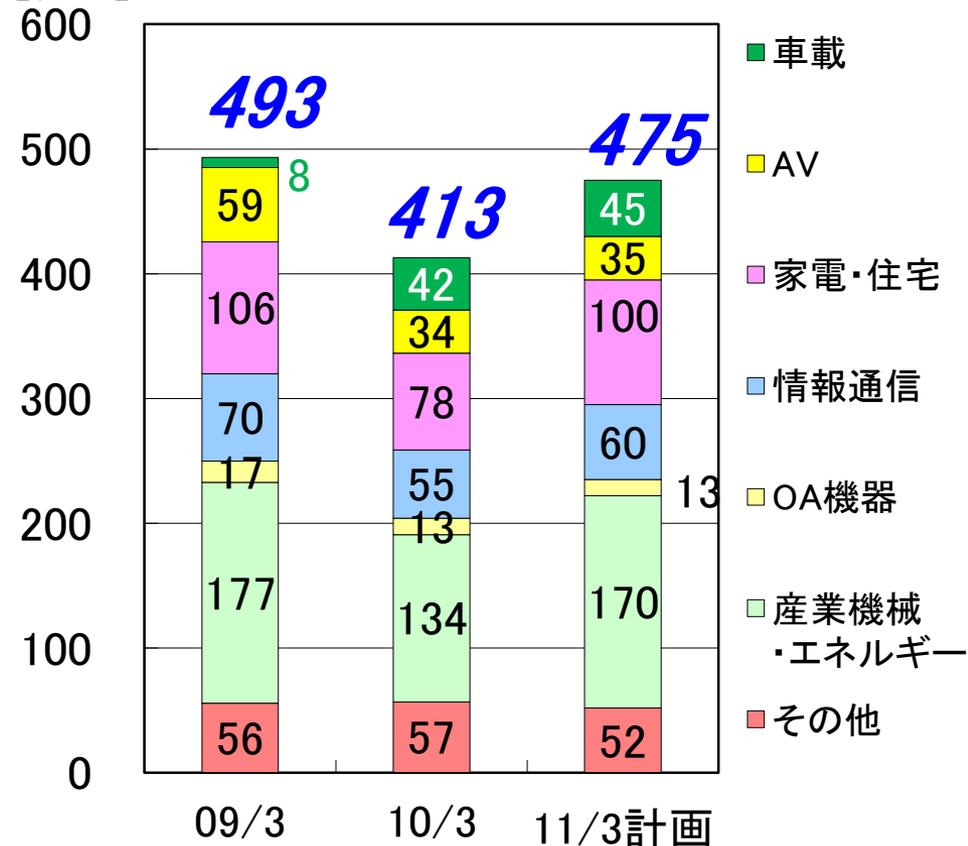
製品別 売上高

【億円】



市場別 売上高

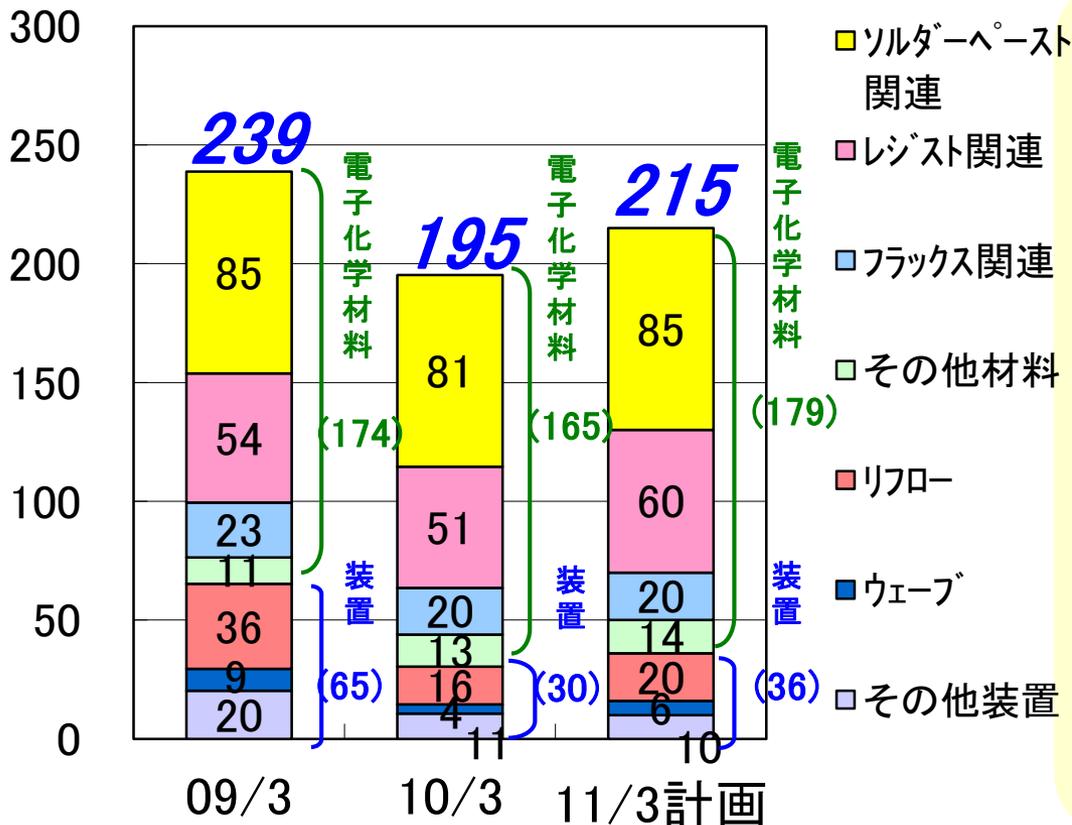
【億円】



LED製品向け、太陽電池等、環境対応市場への製品群の強化と拡販
 電子化学事業部、海外へのERPシステムの本格導入により収益の向上を図る

製品別 売上高

【億円】

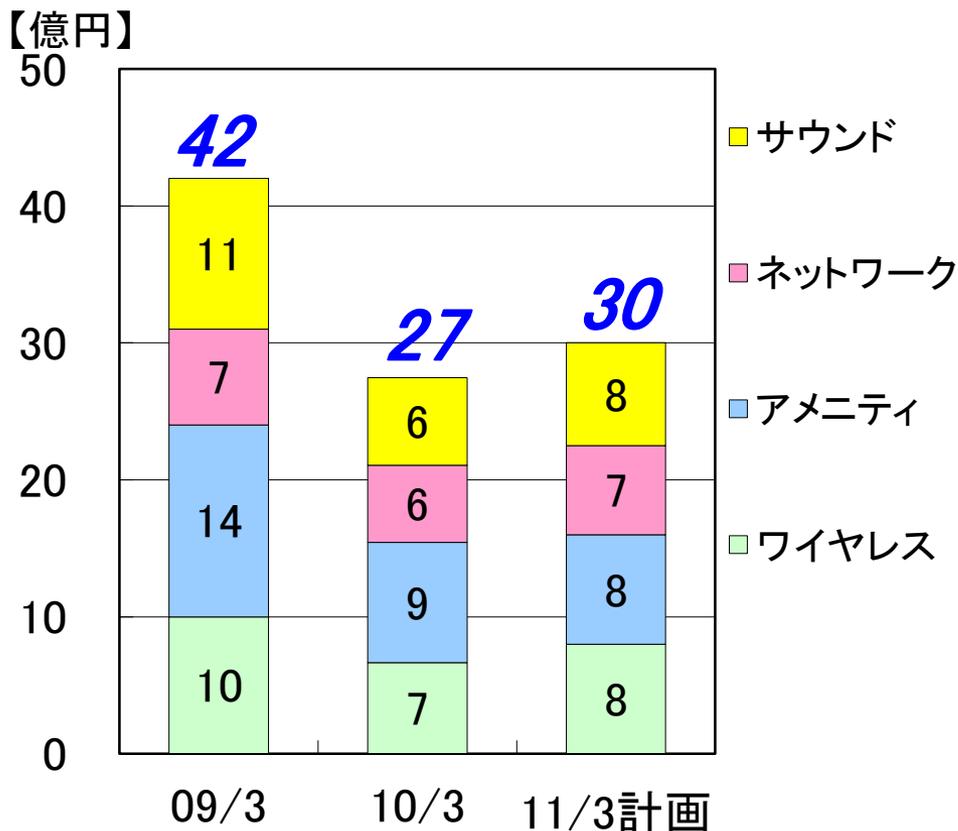


1. 白色反射材「RPW-2000-TRS01」
 光の反射効率を高める働きにすぐれ、LEDだけでなく太陽光パネルにも使用可。高まる市場ニーズに応える。
2. フレキシブル基板向け黒色吸収材「APB-300-11」
 LEDの光を際立たせ、見た目にもクールな黒色吸収材



放送機器関連事業については、厳しい市場環境の背景をふまえ
事業体制の再構築を実践し、市場拡大を図る
生産拠点移管など、抜本的な改革で収益改善へ

市場別 売上高



駅用デジタルワイヤレスシステム
JR西日本・大阪駅に納入

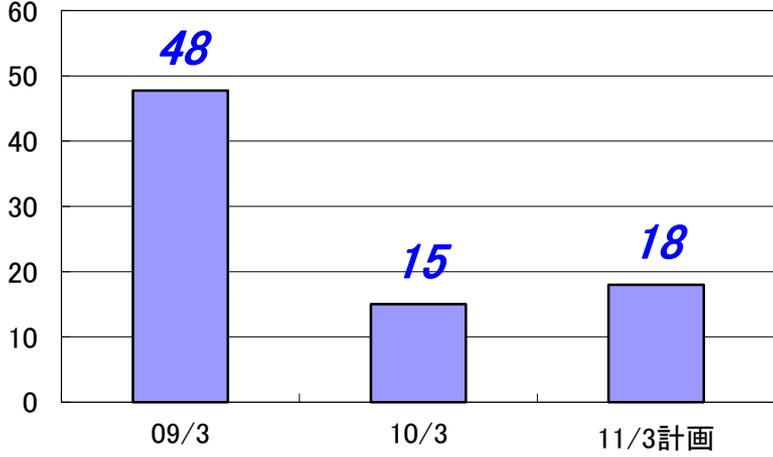
今後も市場開拓、エリア拡大を図る



「B型駅用デジタルワイヤレスシステム」

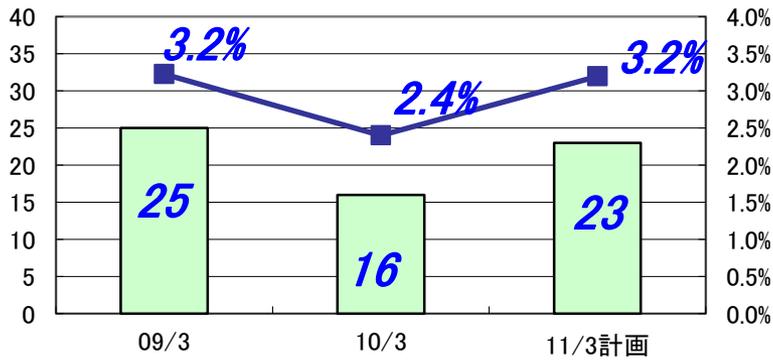
設備投資

【億円】 ※リースを含む



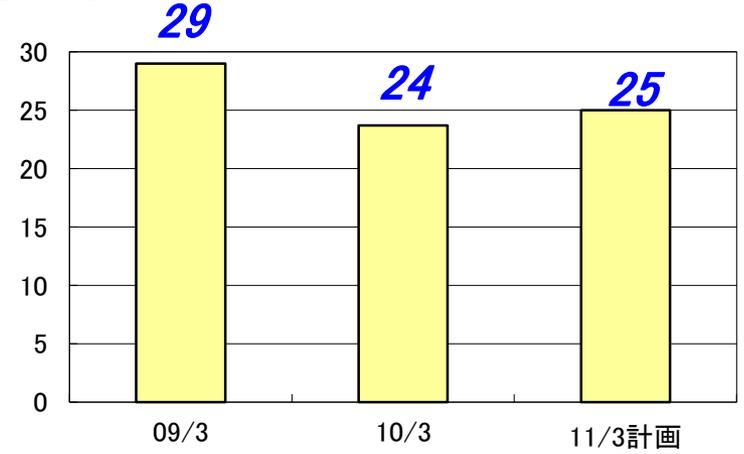
研究開発関連費用

【億円】 ■ 試験研究開発費 ■ 対売上高比率



減価償却費

【億円】



投資効果を最大限に選択と集中

- ・新市場領域開発
 - 次世代エネルギー(太陽光・風力発電他)市場向け製品;
 - 超大型トランス・リアクトルの開発
- ・戦略事業関連開発
 - ①環境対応車向け電子部品・材料
 - ②LED関連製品
(素子・材料・照明製品・可視光通信などの応用製品)
 - ③産業機械向け製品
(コア素材、コイル・リアクトル、電流センサ、PLC 他)
 - ④半導体向け等向けファイン材料・実装工法

弊社からのお願い

業績等の計画につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績等は、市場の変化などにより計画と異なる結果になる可能性もあることをご承知おきください